

## 一般質問発言通告書

議席番号 7番

氏名 村木勝也

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 発言項目及び要旨

「フェーズフリー」とは、「日常時(いつも)」と「非常時(もしも)」の区別をなくし、どちらの状況でも役立つようにしようという考え方です。

「災害リハビリテーション」とは、災害時の「生活不活発病」や「災害関連死」を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から支援することです。

「フェーズフリー」を「災害リハビリテーション」に当てはめると、「特別な準備をするのではなく、普段の生活の質を上げることがそのまま災害対策になる」という合理的で、持続可能な視点になります。

この視点の元、令和8年度施政方針中の「若い世代の健康寿命に対する意識啓発強化にも着手し、ライフステージに応じた身体活動の増加や食生活改善につながるように、地域や職域等と連携して健康増進の機運醸成や実践に取り組みます。」について伺います。

## 1 フェーズフリーに視点をおいた「健康でいきいきと暮らせるまち」について

## (1) フェーズフリーにおける理学療法士との連携について

- ① 日常時、浜田市において、理学療法士との連携を伺う。
- ② 非常時、理学療法士との連携又は期待することを伺う。

## (2) フェーズフリーにおける作業療法士との連携について

- ① 日常時、浜田市において、作業療法士との連携を伺う。
- ② 非常時、作業療法士との連携又は期待することを伺う。

## (3) フェーズフリーにおける言語聴覚士との連携について

- ① 日常時、浜田市において、言語聴覚士との連携を伺う。
- ② 非常時、言語聴覚士との連携又は期待することを伺う。

## (4) フェーズフリーの視点における災害リハビリテーションの可能性について

- ① リハビリテーションカレッジ島根の存在意義を伺う。

- ② 福祉避難所でもあるリハビリテーションカレッジ島根には、その知識をもった職員や学生がいる。災害時におけるその支援の要請体制を伺う。

## 2 中山間地域における消防・救急体制の充実について

- (1) 消防団車庫の外壁への AED 設置事業について
  - ① この事業を行うこととなった経緯を伺う。
  - ② この事業の整備計画を伺う。
  - ③ この事業の課題を伺う。
  - ④ この事業に合わせ、孤立が想定される中山間地域の消防団車庫への「災害時に寸断しない情報通信」の整備する考えがあるか伺う。
- (2) 火災発生時における初期消火訓練について
  - ① 特に住民や事業所などが参加しやすい消火訓練の方策を伺う。
  - ② 消火栓への消防ホース格納庫の設置について伺う。
- (3) 防災ヘリ等が離着陸する「場外離着陸場」施設の維持について
  - ① 市内における「場外離着陸場」の設置数を伺う。
  - ② 夜間における離着陸の可能性を伺う。
  - ③ 「場外離着陸場」の維持における課題を伺う。